

鳥取県立公文書館報

第 19 号
(平成21年度)

鳥取県立公文書館

目 次

公文書館の概要

1	設置の目的	1
2	機能	1
3	組織	1
4	予算	2
5	平成21年度事業計画	2
	〔公文書担当〕	
(1)	収集	2
(2)	保存	2
(3)	利用促進	3
(4)	普及・啓発	3
(5)	市町村公文書等の保存支援	3
	〔県史編さん室〕	
(1)	新鳥取県史編さん委員会等の運営	4
(2)	調査研究	4
(3)	資料集の刊行	4
(4)	普及事業	4

平成20年度事業概要

〔公文書担当〕

1	公文書等の所蔵状況	5
(1)	公文書	5
(2)	マイクロフィルム	5
(3)	刊行物	5
(4)	古文書等	6
2	収集	6
(1)	公文書	6
(2)	行政資料	8
3	保存・管理	8
(1)	劣化公文書のマイクロフィルム撮影	8
(2)	複製本の作成	8
(3)	中性紙保存箱への装填	8
4	利用状況	8
(1)	閲覧等の利用状況	8
(2)	県職員の利用	8
5	普及・啓発	9
(1)	常設展示	9
(2)	企画展示	9
(3)	講演会	10
(4)	巡回講座	10
(5)	こちら「夏休み自由研究」協力隊	10
(6)	研究紀要	10
6	市町村公文書の保存支援	10
7	展示会開催実績	11

〔県史編さん室〕

1	新鳥取県史編さん委員会等の運営	13
2	各専門部会の活動	14
3	刊行物	15
4	普及事業	15
5	県史編さん協力員	16

公文書館の概要

1 設置の目的

公文書館は、歴史資料として重要な県の公文書、その他の記録などを保存し、また、その調査・研究を行い、さらにこれらの歴史資料を広く県民の利用に供するとともに、県政に関する情報を提供し、文化の向上と開かれた県政を推進することを目的としている。

2 機能

(1) 公文書の収集・整理・保存

完結後20年を経過した永年保存文書及び有期限保存文書の中で歴史資料として重要なものを引き継ぎ、整理・保存している。

(2) 公文書・行政資料などの利用

公文書は所定の手続きにより閲覧できる。また、行政資料・統計資料は開架方式で閲覧室に配架されており、自由に閲覧できる。

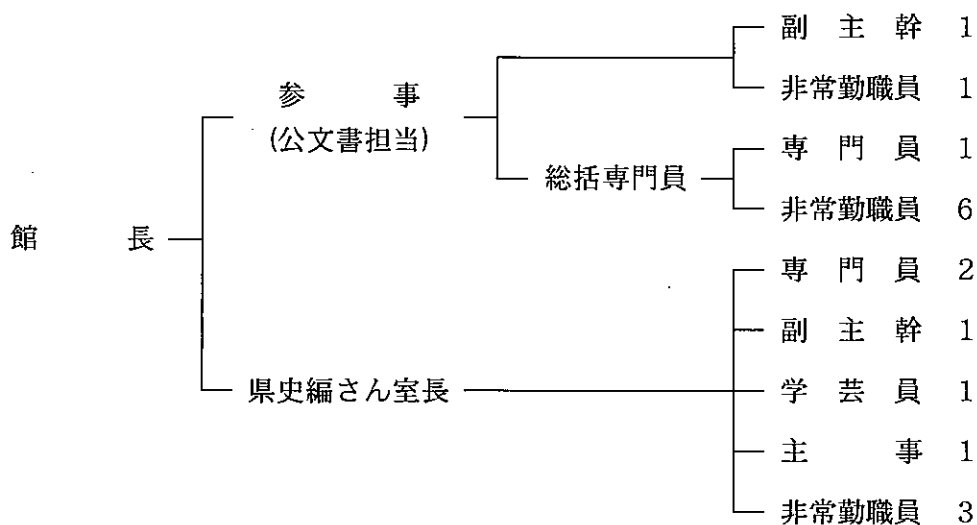
(3) 統計相談

国及び都道府県の作成した各種の統計書を収集・配架し、閲覧に供するとともに、統計相談の窓口として一般からの相談に対応している。

(4) 県史編さん

新鳥取県史編さんに係る調査研究及び資料集の刊行などを行っている。

3 組織（平成21年4月1日現在）



(平成20年4月1日組織改正により公文書館に県史編さん室が移管された。)

4 予 算

事業名	平成19年度 当初予算額	平成20年度 当初予算額	平成21年度 当初予算額
公文書館運営費	12,143	12,671	13,679
公文書収集利用促進費	9,816	8,388	8,623
歴史資料保存事業	5,967	6,285	6,479
親しまれる公文書館推進事業	—	2,625	4,617
新鳥取県史編さん事業	(15,981)	16,368	25,614
合 計	27,926	46,337	59,012

5 平成21年度事業計画

〔公文書担当〕

(1) 収 集

ア 政策法務室からの引継ぎ

政策法務室が保存している公文書のうち完結後20年を経過した永年保存文書及び有期限保存文書で保存期間が満了し廃棄決定されたものの中から、歴史資料として重要と判断したものを引き継ぐ。

イ 地方機関文書の引継ぎ

地方機関が保存している公文書のうち完結後20年を経過した永年保存文書及び有期限保存文書で保存期間が満了し廃棄決定されたものの中から、歴史資料として重要と判断したものを引き継ぐ。

ウ 行政委員会及び県議会文書の引き継ぎ

行政委員会及び県議会（以下「委員会等」という。）が保存している公文書のうち完結後20年を経過した永年保存文書及び有期限保存文書で保存期間が満了し廃棄決定されたものの中から、歴史資料として重要と判断したものを引き継ぐ。

(2) 保 存

ア 中性紙保存箱への装填

公文書館所蔵の公文書の劣化を防ぐため、中性紙で作成された保存箱に装填する。

イ 歴史資料の補修

公文書館所蔵の歴史資料のうち、劣化の著しい図面やアルバムを補修するとともに、写真・マイクロフィルムのデジタル化を行う。

(3) 利用促進

- ア 『鳥取県立公文書館報』の刊行と公開
公文書館の事業概要等を掲載した『館報』を当館ホームページで公開する。
- イ 資料集『澤田廉三と美喜の時代（仮称）』と『鳥取県立公文書館研究紀要』の刊行
岩美町出身の澤田廉三夫妻に関する資料集と、職員による調査研究の成果を収録した『研究紀要』を刊行する。
- ウ 所蔵公文書等のデータベース化
資料検索等の利便性を高めるため、所蔵公文書等のデータベース構築を検討するとともに、データ入力を促進する。

(4) 普及・啓発

- ア 展示コーナーでの常設展示
一階ロビーの「展示コーナー」において、公文書館が所蔵する資料を活用して、県政130年を紹介する「鳥取県のあゆみ」を常設展示する。また、調査研究の成果をタイムリーに紹介する小企画展を行う。
- イ 企画展示の開催
調査研究の成果をもとに企画展（年2回）と巡回展（年1回）を開催する。
 - 企画展：「アーカイブズの世界Ⅱ」
（会期：平成21年6月13日～7月31日〔予定〕）
 - 企画展：「レンズがとらえたあの頃の鳥取県」
（会期：平成21年10月17日～11月22日〔予定〕）
 - 巡回展：「レンズがとらえたあの頃の鳥取県」
（会場 県中部、会期：平成21年11月下旬～〔予定〕）
- ウ 公文書館巡回講座（第4回）
生涯学習や社会教育に寄与するとともに、館の活動内容について理解を深めるための講座を開催する。（会場 県東部、開催予定：平成21年9月）
- エ こちら「夏休み自由研究」協力隊
夏季休業中の自由研究で「鳥取県政の歴史」を研究してみようと考えている小学生、中学生を対象に、館所蔵資料を提供し、指導助言を加えながら作品を作成させる。
- オ 公文書館探検隊
公民館、老人会、学校等の団体見学者を募集して、公文書の保存状況や常設展示の説明、館の利用方法などを説明する。（対応は随時）

(5) 市町村公文書等の保存支援

- 市町村が所蔵する公文書等の適切な保存を支援するため、「公文書等資料保存研究会」を開催するとともに、保存と管理に関する助言を行う。

〔県史編さん室〕

(1) 新鳥取県史編さん委員会等の運営

新鳥取県史編さん委員会及び専門部会(考古、古代・中世、近世、近代、現代、民俗)を開催し、編さん事業の方針について審議する。

(2) 調査研究

『鳥取県史』(昭和38～57年度)以後の発見や研究の発展のあった事項、また十分に取り上げられていない事項を調査研究する。

(3) 資料集の刊行

県民から応募いただいた手記を編集した『鳥取県史手記編』を刊行する。

『新鳥取県史近代資料編1(鳥取県史料)』の刊行。

(4) 普及事業

事業の成果を分かり易く提供する。

ア 「鳥取県史ブックレット」の刊行

イ 新鳥取県史シンポジウムの開催(開催時期:平成21年12月開催予定)

ウ 出前講座等の開催

エ ホームページでの情報発信

平成20年度事業概要

〔公文書担当〕

1 公文書等の所蔵状況 (平成21年3月31日現在)

(1) 公文書 (単位：冊)

区 分		引 継 冊 数	
知事部局	本 庁	永年保存文書	28,213
		有期限保存文書	9,106
	地方機関	永年保存文書	1,221
		有期限保存文書	502
	小 計	永年保存文書	29,434
		有期限保存文書	9,608
教育委員会 (本庁)	永年保存文書	1,703	
	有期限保存文書	513	
人事委員会	永年保存文書	266	
	有期限保存文書	9	
地方労働委員会	永年保存文書	431	
	有期限保存文書	3	
県 議 会	永年保存文書	605	
警察本部	永年保存文書	131	
合 計	永年保存文書	32,570	
	有期限保存文書	10,133	
	計	42,703	

(2) マイクロフィルム (単位：コマ)

区 分		コ マ 数
欠落公文書の 補 充	県内市町村関係	63,654
	島根県関係	58,181
	福島県移住関係	12,144
	北海道移住関係	18,789
	国立公文書館	477
	学校調査関係	569,615
	そ の 他	7,640
	計	730,500
劣 化 公 文 書	85,355	
県史編纂収集資料	108,493	
合 計	924,348	

(3) 刊行物 (単位：冊)

区 分	冊 数
行政資料	26,278
統計資料	36,072
合 計	62,350

- (4) 古文書等
 県史編さん関係原文書 379点
 寄贈資料 約10,000点

2 収 集

(1) 公文書

ア 引継公文書

①永年保存文書（知事部局本庁）

完結後20年を経過した永久保存文書について、平成10年度まで隔年に引継ぎを行っていたが、平成11年度からは毎年実施している。

(単位：冊)

区 分	平成19年度まで	平成20年度	計
収 集 冊 数	27,226	987	28,213

②有期限保存文書（知事部局本庁）

有期限保存文書で保存期間が満了し廃棄決定されたものの中から、歴史資料として重要と判断したものを、「鳥取県文書の整理、保管及び保存に関する規程」に基づき選別収集を行っている。

(単位：冊)

区 分	平成19年度まで	平成20年度	計
収 集 冊 数	9,035	71	9,106

③地方機関文書

平成7年度から全地方機関を対象として、完結後20年を経過した永久保存文書、及び有期限保存文書で保存期間が満了し廃棄決定されたものの中から歴史資料として重要と判断したものを引き継いでいる。

(単位：冊)

区 分		平成19年度まで	平成20年度	計
収集 冊数	永年保存文書	1,132	89	1,221
	有期限保存文書	456	46	502
計		1,588	135	1,723

④鳥取県教育委員会文書

平成8年度から、本庁が保存している公文書のうち、完結後20年を経過した永年保存文書、及び有期限保存文書で保存期間が満了し廃棄決定されたものの中から歴史資料として重要と判断したものを引き継いでいる。

(単位：冊)

区 分		平成19年度まで	平成20年度	計
収集 冊数	永年保存文書	1,517	186	1,703
	有期限保存文書	499	14	513
計		2,016	200	2,216

⑤鳥取県人事委員会文書

平成10年度から、人事委員会が保存している公文書のうち、完結後20年を経過した永年保存文書、及び有期限保存文書で保存期間が満了し廃棄決定されたものの中から歴史資料として重要と判断したものを引き継いでいる。

(平成13年度以降の簿冊引き継ぎはなし。)

(単位：冊)

区 分		平成19年度まで	平成20年度	計
収集 冊数	永年保存文書	266	0	266
	有期限保存文書	9	0	9
計		275	0	275

⑥鳥取県労働委員会文書

平成10年度から、労働委員会が保存している公文書のうち、完結後20年を経過した永年保存文書、及び有期限保存文書で保存期間が満了し廃棄決定されたものの中から歴史資料として重要と判断したものを引き継いでいる。

(単位：冊)

区 分		平成19年度まで	平成20年度	計
収集 冊数	永年保存文書	416	15	431
	有期限保存文書	3	0	3
計		419	15	434

⑦鳥取県議会文書

平成10年度から、県議会が保存している公文書のうち、完結後20年を経過した永年保存文書、及び有期限保存文書で保存期間が満了し廃棄決定されたものの中から歴史資料として重要と判断したものを引き継いでいる。

(平成13年度以降の簿冊引き継ぎはなし。)

(単位：冊)

区 分		平成19年度まで	平成20年度	計
収集 冊数	永年保存文書	605	0	605
	有期限保存文書	0	0	0
計		605	0	605

⑧鳥取県警察本部

警察本部保存の公文書のうち、現行警察制度以前（明治～昭和22年）の文書を引き継いでいる。（平成16年度のみ）

(単位：冊)

区 分	計
収 集 冊 数	131

イ 欠落公文書の補充

当館所蔵の公文書の欠落部分を補充するため、他機関等が所蔵する公文書を複製収集している。（下表は収集したマイクロフィルムのコマ数）

(単位：コマ)

区 分	平成19年度まで	平成20年度	計
県内市町村関係	63,654	0	63,654
島根県関係	58,181	0	58,181
福島県移住関係	12,144	0	12,144
北海道移住関係	18,789	0	18,789
国立公文書館	477	0	477
学校調査関係	569,615	0	569,615
そ の 他	5,640	2,000	7,640
計	728,500	2,000	730,500

(2) 行政資料

県や国その他地方公共団体等が刊行する行政資料について収集を行い、データベースに入力、登録した。

(単位：冊)

区 分	平成19年度まで	平成20年度	計
収 集 冊 数	25,502	776	26,278

3 保存・管理

(1) 劣化公文書のマイクロフィルム撮影

収蔵公文書のうち、劣化の著しい簿冊の保存措置として、マイクロフィルムによる撮影を実施した。(撮影は平成10年度で終了)

(単位：コマ)

区 分	計
撮 影 コ マ 数	85,355

(2) 複製本の作成

保存するマイクロフィルムのうち、利用度が高く紙媒体化の必要があるものについて、随時複製本を作成している。

ア 欠落公文書

(単位：コマ、冊)

区 分	平成19年度まで	平成20年度	計
コマ数	276,114	3,565	279,679
複製本作成数	1,098	30	1,128

イ 劣化公文書

(単位：コマ、冊)

区 分	平成19年度まで	平成20年度	計
コマ数	45,889	329	46,218
複製本作成数	224	2	226

※コマ数には、県史編纂収集マイクロフィルム分を含む。

(3) 中性紙保存箱への装填

公文書の劣化を防ぐために、中性紙で作成された保存箱に一冊ずつ入れて保存することとし、平成20年度には325冊装填した。

4 利用状況

(1) 閲覧等の利用状況 (一般)

年度	利用者数 (人)	内 訳 (人)		写しの交付 (枚)
		資料閲覧	相談・案内	
平成16年度	11,352	10,500	852	17,597
平成17年度	11,924	11,086	838	14,203
平成18年度	9,870	9,200	670	10,339
平成19年度	12,360	11,691	669	5,172
平成20年度	13,748	12,682	1,066	8,923

月別	利用者数 (人)	内 訳 (人)		写しの交付 (枚)	
		資料閲覧	相談・案内		
平成 20 年度 月別 内訳	4 月	1,052	970	82	109
	5 月	860	780	80	135
	6 月	1,033	943	90	381
	7 月	1,062	988	74	168
	8 月	1,359	1,244	115	1,051
	9 月	1,232	1,141	91	868
	10 月	1,879	1,770	109	1,771
	11 月	1,673	1,571	102	783
	12 月	820	749	71	785
	1 月	771	689	82	1,471
	2 月	983	893	90	1,250
	3 月	1,024	944	80	151

(2) 県職員の利用

年 度	利用者数 (人)	資料閲覧・貸出 (冊)
平成20年度	1,260	2,051

5 普及・啓発

(1) 常設展示

展示コーナーにおいて、県政130年を紹介する「鳥取県のあゆみ」を常設展示した。また、調査研究の成果をタイムリーで紹介する小企画展として、初期の鳥取県知事に関する資料を展示した。

〈小企画展〉

テーマ 「初期知事の足跡…関義臣と山田信道」
 会 期 平成20年11月25日(火)～平成21年3月31日(火)
 入館者 3,752人

(2) 企画展示

〈企画展〉

テーマ 企画展「アーカイブズの世界 ―公文書館の仕事と資料の修復―」
 概 要 公文書館の業務をわかりやすく紹介するとともに、修復を終えた公文書・写真・図面などを初公開した。また、新発見された福岡製鉄場(伯耆町福岡)の測量図面など、たたら製鉄に関する貴重資料も合わせて展示した。
 会 期 平成20年6月12日(木)～7月31日(木)
 入館者 1,793人

〈特別展〉

テーマ 「澤田廉三と美喜の時代」
 概 要 岩美町浦富出身で戦前・戦後と外交官として活躍した澤田廉三と、その妻で戦争孤児の救済養育に尽力した澤田美喜の活躍を紹介した。
 会 期 平成20年10月17日(金)～11月23日(日)
 入館者 2,859人

〈特別展巡回展〉

テーマ 「澤田廉三と美喜の時代」
概要 特別展と同じ
場所 岩美町中央公民館（岩美郡岩美町）
会期 平成20年11月29日（土）～平成20年12月21日（日）
入館者 1,100人

(3) 講演会

特別展会期中に、酒井哲哉東京大学教養学部教授による特別展記念講演会を開催した。

演題 「昭和の外交官の系譜～澤田廉三の軌跡～」
講師 酒井 哲哉（東京大学教養学部教授）
日時 平成20年11月8日（土）午後2時～4時
場所 鳥取県立図書館大研修室
来聴者 100人

(4) 巡回講座

公文書館制度の普及と資料保存の重要性を啓発するため、巡回した地域の歴史（近代以降）に関する内容で講座を実施した。

期間 平成20年9月17日～9月19日（3講座）
場所 公文書館会議室（鳥取市）
内容 「澤田廉三の手紙―新発見資料の第一報―」（職員）
「森田幹と梶川正温―郡長の見た明治の鳥取―」（職員）
「碑文は端折る―水道・電気の誕生前後―」（職員）

(5) こちら「夏休み自由研究」協力隊

新規事業として、夏季休業中の自由研究で「鳥取県政の歴史」を研究してみようと考えている小学生、中学生を対象に、館所蔵資料を提供し、指導助言を加えながら作品（模造紙にまとめ）を作成させた。

なお、完成した自由研究は当館で1週間展示した。

(6) 研究紀要

鳥取県政の歴史や資料の保存・整理に関する調査研究の成果を報告するため、「研究紀要」第5号を刊行（A5判、500冊）した。

内容
「澤田廉三の手紙―敗戦前後の活動を中心に―」（職員）
「初代郡長の経歴（補遺）―気多郡長・梶川弥平の事例―」（職員）
「日本のアーカイブズとその未来」（外部、ジャーナリスト）
「碑文は端折る―電気・水道の誕生前後―」（職員）
「女性県会議員・田中花子の自筆ノート―『人生記録』をよむ―（2）」（職員）
「野における太一郎研究の集大成」（外部、大学教授）

6 市町村公文書の保存支援

市町村が所蔵する公文書等の適切な保存と管理に関する協力支援の一環として、市町村職員を対象に「公文書等資料保存研究会」（講義形式）を開催した。

日時 平成20年11月19日（水）
場所 公文書館会議室
内容 講義①「公文書の保存を巡る最近の情勢」（職員）
講義②「鳥取県における文書管理と利用」（総務部政策法務室職員）
講義③「文書保存の実務―何を残すのか―」（職員）
参加者 20人

7 展示会開催実績

年度	期 間	名 称	テ ー マ	開催場所
2	平成2年 10月1日～10月31日	開館記念特別展	公文書に見る明治	公文書館
	平成3年 2月18日～3月15日	行政資料展	鳥取県の国際交流	〃
3	平成3年 6月11日～7月10日	県史編纂収集資料展	最後の藩主・池田慶徳の書状	〃
	平成3年 10月1日～10月31日	開館1周年記念展	敗戦直後の公文書	〃
	平成4年 2月18日～3月19日	行政資料展	鳥取県のポート	〃
4	平成4年 6月9日～7月8日	県史編纂収集資料展	「鳥府志」の挿絵展（Ⅰ） 在りし日の鳥取城と郭内	〃
	平成4年 10月6日～11月5日	行政資料展	鳥取県のダム	〃
	平成5年 2月8日～3月5日	公文書展	鳥取大地震の公文書記録	〃
5	平成5年 10月13日～11月5日	県史編纂収集資料展	「鳥府志」の挿絵展（Ⅱ） 在りし日の城下町鳥取と外山下	〃
	平成6年 2月22日～3月18日	公文書展	鳥根県時代の鳥取 －鳥取県再置運動をめぐる－	〃
6	平成6年 6月6日～7月1日	県史編纂収集資料展	「鳥府志」の挿絵展（Ⅲ） 在りし日の城下町鳥取と町端	〃
	平成6年 8月30日～9月12日	行政資料展	暮らしに役立つ統計資料	〃
	平成6年 10月11日～10月28日	臨時展 「鳥府志」挿絵展	都市景観の形成	〃
	平成7年 3月7日～3月24日	公文書展	明治期鳥取県の町村合併	〃
7	平成7年 10月1日～10月22日	開館5周年記念展	公文書に見る1945－1954 －鳥取県の戦後改革－	〃
	平成8年 3月4日～3月22日	公文書展	公文書に見る近代鳥取県の災害	〃
8	平成8年 8月12日～9月12日	県史編纂収集資料展	中津尾家に見る近世の大山嶺	〃
	平成9年 2月18日～3月19日	公文書展	鳥取士族の福島県移住	〃
9	平成9年 8月11日～9月12日	県史編纂収集資料展	門脇家資料に見る大庄屋の活動	〃
	平成10年 2月17日～3月20日	公文書展	鳥取県人の北海道移住	〃
10	平成10年 10月15日～10月30日	臨時展 公文書展	鳥取県人の北海道移住（Ⅱ）	〃
	平成11年 3月6日～3月26日	公文書展	鳥取県 明治期の初等教育	〃
11	平成11年 6月19日～7月11日	公文書展	鳥取県 明治の小学校	倉吉博物館
	平成11年 9月12日～9月18日	臨時展 公文書展	明治の鳥取県	米子コンベンションセンター
	平成12年 3月4日～3月19日	公文書展	鳥取県 明治の小学校	米子市立図書館

年度	期 間	名 称	テ ー マ	開催場所
12	平成12年 8月5日～8月27日	開館10周年記念 特 別 展	20世紀の鳥取県	公文書館
	平成12年 12月5日～12月24日			倉吉博物館
	平成13年 2月24日～3月11日			米子市立図書館
13	平成13年 12月8日～12月27日	公 文 書 展	鳥取県大正・昭和初期の小学校	公文書館
	平成14年 2月23日～3月10日			大栄町歴史 文化学習館
	平成14年 3月16日～3月27日			日南町総合 文化センター
14	平成14年 10月26日～11月24日	公 文 書 展	城下町鳥取ー歴史の散歩道ー	公文書館
	平成15年 3月8日～3月23日	公 文 書 展	文書が語る 鳥取県の歩み	倉吉博物館
	平成15年 2月15日～3月5日			山陰歴史館
15	平成16年 1月10日～1月29日	公 文 書 展	近代鳥取県の産業振興 ー米・生糸・牛・鉄ー	倉吉博物館
	平成16年 2月3日～3月2日			公文書館
	平成16年 3月6日～3月18日			米子市立図書館
16	平成16年 平成17年 12月4日～1月9日	公 文 書 展	鳥取県の国民学校	公文書館
	平成17年 1月14日～2月14日			山陰歴史館
17	平成17年 10月8日～11月6日	公 文 書 展	鳥取県のたたら	公文書館
	平成17年 11月12日～12月18日			日南町美術館
18	平成18年 8月30日～9月26日	公 文 書 展	鳥取県的生活綴方教育 ー峰地光重と後進たちー	倉吉博物館
	平成18年 10月7日～11月12日			公文書館
19	平成19年 5月15日～7月1日	企 画 展	公文書館所蔵資料による 「昭和の鳥取県」	〃
	平成19年 10月13日～11月11日	公 文 書 展	鳥取県の漁業 ー公文書館所蔵漁場図を中心にー	〃
	平成19年 11月17日～12月16日			海とくらしの史館
20	平成20年 6月12日～7月31日	企 画 展	アーカイブズの世界 ー公文書館の仕事と資料の修復ー	公文書館
	平成20年 10月17日～11月23日	特 別 展	澤田廉三と美喜の時代	〃
	平成20年 11月29日～12月21日			岩美町 中央公民館

〔県史編さん室〕

1 新鳥取県史編さん委員会等の運営

「新鳥取県史編さん事業」の編さん方針等を審議するため、編さん委員および各専門部会委員を委嘱し、会議を開催した。

(1) 委員名簿

平成20年度 新鳥取県史編さん委員

	氏名	現職
1	高田 健一	鳥取大学准教授
2	根鈴 智津子	倉吉市教育委員会文化財課主任
3	錦織 勤	鳥取大学教授
4	日置 糸左工門	元鳥取県史編さん室常勤専門委員
5	池内 敏	名古屋大学教授
6	谷口 啓子	元鳥取県立公文書館非常勤専門員
7	岸本 覚	鳥取大学准教授
8	上灘 順子	米子市市史編さん事務局事務担当
9	小山 富見男	鳥取敬愛高校教頭
10	喜多村 理子	米子市文化財保護審議委員
11	坂田 友宏	伯耆文化研究会会長

平成20年度 新鳥取県史編さん専門部会委員

	氏名	現職
(原始古代部会)		
1	高田 健一	鳥取大学准教授
2	根鈴 智津子	倉吉市教育委員会文化財課主任
3	下高 瑞哉	米子市教育委員会文化課主任
4	松井 潔	妻木晩田遺跡事務所調査整備係長
5	中原 斉	鳥取県教育委員会文化財課歴史遺産室長
6	石田 敏紀	鳥取県立博物館副主幹
(中世部会)		
1	錦織 勤	鳥取大学教授
2	日置 糸左工門	元鳥取県史編さん室常勤専門委員
3	倉恒 康一	鳥取県商工労働部経済・雇用政策総室
4	秋山 伸隆	県立広島大学教授
(近世部会)		
1	池内 敏	名古屋大学教授(元鳥取大学)
2	谷口 啓子	元鳥取県立公文書館非常勤専門員
3	山藤 良治	米子工業高等専門学校教授
4	山脇 幸人	倉吉市立図書館係長
5	渡邊 仁美	鳥取県立図書館郷土資料課学芸員
6	来見田 博基	鳥取県立博物館学芸員
(近代部会)		
1	岸本 覚	鳥取大学准教授
2	上灘 順子	米子市市史編さん事務局事務担当
3	田村 達也	元鳥取県立公文書館専門員
4	奥村 寧子	鳥取市歴史博物館学芸員
(現代部会)		
1	小山 富見男	鳥取敬愛高校教頭
2	喜多村 理子	米子市文化財保護審議委員

3	伊藤 康	鳥取県立公文書館総括専門員
4	石田 敏紀	鳥取県立博物館副主幹
(民俗部会)		
1	坂田 友宏	伯耆文化研究会会長
2	喜多村 理子	米子市文化財保護審議委員
3	喜多村 正	元島根大学法文学部教授
4	霧 理恵子	吉備国際大学社会学部准教授
5	福代 宏	鳥取県立博物館学芸員
6	原島 知子	鳥取県教育委員会文化財課文化財主事

(2) 会議

平成20年	5月10日	第1回部会長会議（於公文書館）
	6月13日	第1回民俗部会（県庁議会棟第14会議室）
	6月20日	第1回近世部会（於公文書館）
	7月 1日	原始古代部会関係者会議（於公文書館）
	7月 2日	第1回現代部会（於公文書館）
	7月 4日	第1回中世部会（於県庁第1会議室）
	7月16日	第1回近代部会（於県庁総務部会議室）
	7月25日	第2回部会長会議（於公文書館）
	10月 4日	第2回中世部会（於公文書館）
		第2回近代部会（於公文書館）
平成21年	2月 2日	第1回民俗調査検討会（於公文書館）
	3月 4日	第2回近世部会（於公文書館）
	3月 5日	第2回現代部会（於公文書館）
	3月 6日	第2回近代部会（於県庁総務部会議室）
	3月12日	第2回民俗部会（於公文書館）
	3月27日	編さん委員会（於公文書館）

2 各専門部会の活動

(1) 原始古代部会

今後の部会事業のありかたについて検討

(2) 中世部会

- ・県内史料調査（琴浦町・大元神社等、5ヵ所）
- ・県外史料調査（島根県立図書館、福山城博物館、姫路市史編さん室、東京大学史料編纂所等、13ヵ所）

(3) 近世部会

- ・県中部地区の近世文書所在調査、および現地調査（琴浦町・河本家文書等、4件）
- ・史料解説（鳥取県立博物館所蔵『家老日記』の解説）

(4) 近代部会

- ・内閣文庫所蔵「鳥取県史料」の解説、コンピュータ入力
- ・資料調査（島根県立図書館、米子市尚徳公民館）
- ・ブックレット『明治時代の消費生活』の刊行

(5) 現代部会

- ・手記編の編さん（H18 募集「孫や子に伝えたい戦争体験」、H19 募集「戦後復興と昭和の暮らし」の刊行に向けた編集作業）
- ・聞き取り調査（満蒙開拓関係を中心に14名）
- ・資料調査（中国東北地方現地調査、茨城県内原町義勇軍資料館等、22件）
- ・ブックレット『鳥取県の無らい県運動』の販売（国立ハンセン病資料館で委託販売開始）

(6) 民俗部会

- ・地域民俗調査（県東部海岸部）、テーマ別民俗調査（7テーマ）の実施（延べ102日間）
- ・民具調査（鳥取市佐治歴史民俗資料館の所蔵民具1,626点のリスト作成と重要資料の実測）

3 刊行物

- (1) 鳥取県史ブックレット『明治時代の消費生活－郡是・村是資料にみる鳥取の家計と食－』の刊行（A5判、96ページ、平成20年3月31日刊行、1,470部印刷）
- (2) 既刊鳥取県史ブックレットの頒布

4 普及事業

(1) 新鳥取県史シンポジウム

- テーマ 「歴史の語りと聞き取り～オーラルヒストリーの可能性」
- 日時 平成20年9月6日（土）午後1時30分～4時30分
- 会場 倉吉未来中心小ホール
- 内容 ・基調講演「オーラルヒストリーとは何か」
講師 中村 政則（一橋大学名誉教授）
- ・パネルディスカッション「オーラルヒストリーの可能性」
報告 「徴兵除け感情にみる語りと記録の差」
喜多村 理子（元米子市史編さん近代部会専門委員）
「高校社会部の調査と聞き取り手法」
小山 富見男（鳥取敬愛高等学校教頭）
○アドバイザー 中村 政則
○進行 西村（県史編さん室）
参加者 210人

(2) 県史ブックレット2巡回講座

期 日	会 場	講座名（担当者）・テーマ	参加数（人）
5/18（日）	鳥取県立図書館	「鳥取県の無らい県運動」（西村）	28
5/25（日）	倉吉未来中心	同	27
同	糎子コンベンションセンター	同	17

※このほか、県職員対象の人権研修として講義を実施（2部局・2課）

(3) 民具調査報告会

期 日	会 場	講座名（担当者）・テーマ	参加数（人）
3/26 （金）	日吉津村中央公民館	民具調査報告会（櫻村） 「日吉津村民俗資料館所蔵民具の概要」	20

(4) 出前説明会

期 日	会 場	講座名（担当者）・テーマ	参加数（人）
7/10 （木）	鳥取緑風高校	出張授業（岡村） テーマ：「天神山城の歴史について」	40

(5) 依頼講演・講義

期 日	会 場	講座名 (担当者)・テーマ	参加数 (人)
4/9 (水)	とっとり政策総合 研究センター	「水曜サロン」(岡村) テーマ:「鳥取の神社と文化・交流」	50
6/4・11 (水)	鳥取環境大学	「鳥取学」講義(岡村・坂本)	150
7/13 (日)	若桜中学校さくら ホール	若桜鬼ヶ城跡国史跡指定記念講演会(岡村) テーマ:「中世の因幡地方と若桜鬼ヶ城」	150
10/22 (水)	県教育センター	高等学校教員(日本史)研修講座(岡村) テーマ:「郷土史から歴史認識を深める日本史」	15
11/11 (火)	県教育センター	中学校社会科教員研修講座(岡村) テーマ:「郷土史から学ぶ中学校歴史」	20
11/12 (水)	とりぎん文化会館	西日本都市監査事務研修会(郷土史)(岡村) テーマ:「織田vs毛利-鳥取をめぐる攻防-」	200
3/3 (火)	道の駅ポート赤碕 会議室	琴浦町観光ガイドの会研修会(岡村) テーマ:「中世の八橋城とその周辺」	25

(6) 県史だよりの発行

- ・記事内容 歴史・民俗に関する小記事(各部会で持ち回り)、室長コラムなど
- ・発行形態 紙版(A4両面、県内図書館などへ配布)とホームページ版
- ・発行頻度 月1回

(7) ホームページの更新

- ・記事内容 ①シンポ開催、ブックレット刊行の案内など(随時更新)
②史料調査のレポートなど(最近の活動から)(随時更新)
③県史だよりの更新(月1回更新)
- ・更新頻度 月平均2.2回(平成20年度)

5 県史編さん協力員

(1) 古文書解読

近世は「家老日記」、近代は「鳥取県史料」を解読し、パソコン入力する。県史編さん室の点検を受け、修正してデータを提出する。

3地区ごとに毎月月例会を開催

東部	第1土曜日午前	県立博物館	協力員28名
中部	第1日曜日午前	倉吉歴史民俗資料館	協力員11名
西部	第1日曜日午後	米子市旧庁舎	協力員12名

(2) 石造物調査

担当地域内の中世石造物を調査カードに記入し、県史編さん室へ提出する。
4月～6月に各1回現地調査実施。(旧大山町・旧中山町2回、延べ9名参加)

(3) 民具調査

鳥取市佐治民俗資料館の収蔵民具の写真撮影、名称・法量等パソコン入力。
毎週木曜日に調査実施(協力員1名)。収蔵資料1,626点の目録を作成。

利用案内

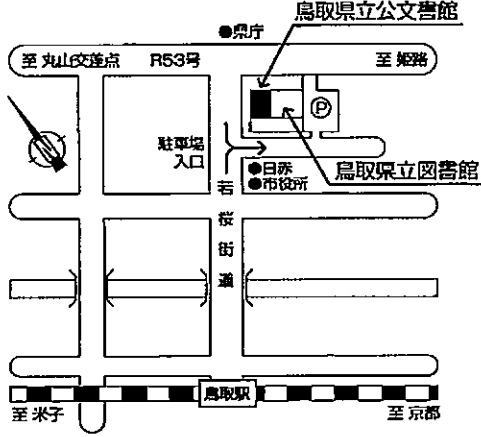
案内図

開館時間

●月～金曜日 9:00～17:00

休館日

- 日曜日、土曜日
- 国民の祝日及び振替休日
- 年末年始（12月29日～1月3日）
- 展示コーナーについては、年末年始及び月末に当たる場合を除き、日曜日、土曜日でも入館できます。



- 徒歩 鳥取駅から若桜街道を県庁方向へ
徒歩20分
- バス 鳥取バスターミナルより
湖山・鳥大線、賀露線など
「県庁日赤前」下車徒歩1分

鳥取県立公文書館報

第19号-平成21度-

平成21年5月印刷
平成21年5月発行

編集・発行 鳥取県立公文書館
〒680-0017 鳥取市尚徳町101番地
電話 (0857) 26-8160
ファクシミリ (0857) 22-3977
電子メール kobunsho@pref.tottori.jp
<http://www.pref.tottori.lg.jp/kobunsho>

